

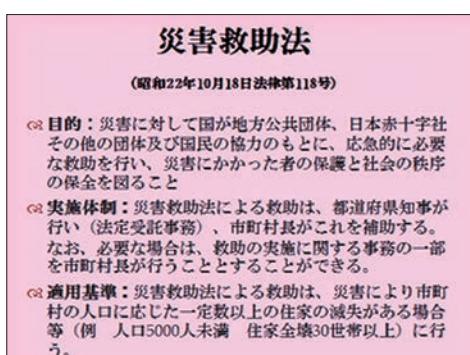
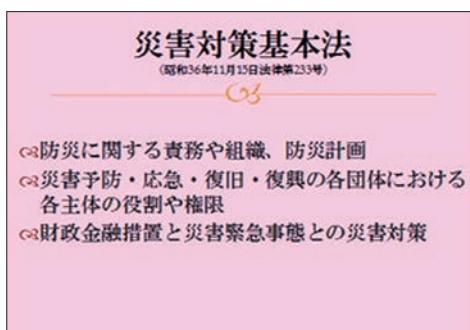
災害看護

神奈川県の 災害時医療救護体制

おんたけさん くちのえらふじま
一昨年の御嶽山噴火や、昨年の口永良部島噴火、関東・東北豪雨災害では多くの傷病者が発生し、被災者は長期にわたり避難生活を余儀なくされています。

その中で私たち医療従事者は、災害サイクルに合わせた支援活動が求められます。

そこでシリーズ前編では、災害時の「神奈川県災害時医療救護体制」について、後編（看護だより平成28年9月号）では「自施設の災害時の役割と備え」について紹介いたします。



あなたの病院の 役割は?

図1 神奈川県の災害時医療救護体制

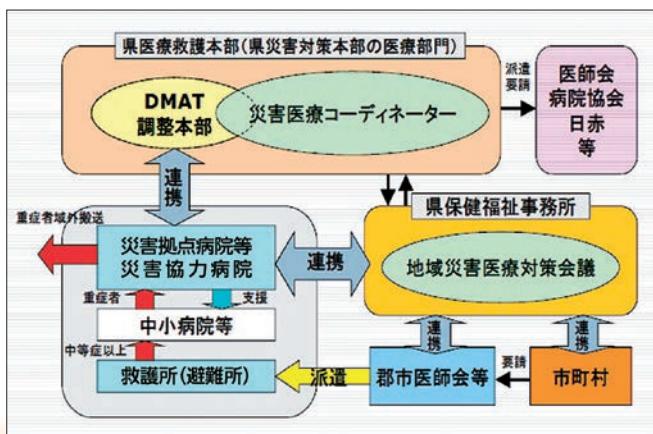
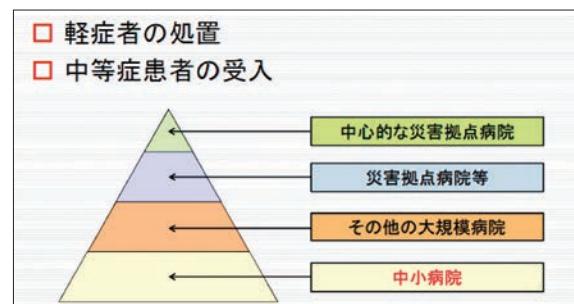


図2 中小病院に求められるもの



- ※DMATの活動
- ①病院におけるトリアージ、診療等の支援（病院支援）
- ②患者搬送及び搬送中の治療等（地域医療搬送）
- ③災害現場におけるトリアージ、緊急医療等（現場活動）

※図1、図2は平成26年度神奈川県看護協会 災害看護
マニピュメント研修資料より抜粋